

1 現状と今後の課題

(1) 乳がん罹患率及び女性有業率の増加

年齢	乳がん罹患率(対人口10万対)		女性有業率	
	2012年	2015年	2012年	2017年
40～44歳	64.2人	69.3人	71.6%	75.5%
45～49歳	106.5人	110.2人	73.3%	78.0%
50～54歳	94.3人	106.2人	72.7%	76.7%
55～59歳	94.1人	104.8人	62.4%	70.9%

(2) 乳がん検診受診率の低迷(平成29年度)

年齢	対象者	受診者数	2年連続受診者数	前年度受診者数	受診率
40～44歳	213,173人	21,032人	1,425人	22,371人	19.7%
45～49歳	211,173人	14,447人	386人	14,838人	13.7%
50～54歳	182,772人	13,115人	537人	14,011人	14.5%
55～59歳	168,768人	10,064人	429人	10,937人	12.2%

(3) 集団検診と個別検診の割合(平成29年度)

年齢	受診者数(人)		受診割合(%)	
	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診
40～44歳	21,032人	5,900人	28.1%	71.9%
45～49歳	14,447人	4,132人	28.6%	71.4%
50～54歳	13,115人	4,619人	35.2%	64.8%
55～59歳	10,064人	3,879人	38.5%	61.5%



乳がんを早期に発見するため、職場等の近隣で乳がん検診を受診できる体制を整備する必要がある。

2 他府県における広域化の事例

都道府県名	開始時期	検診種別	対象者
福岡県	平成21年度	乳がん 子宮頸がん	市町村が発行した乳がん・子宮頸がん検診無料クーポン券所持者
徳島県	10年ほど前	乳がん	40歳以上の女性
		子宮頸がん	20歳以上の女性
		胃がん (内視鏡検査)	50歳以上の県民
佐賀県(※)	平成29年度	子宮頸がん	20歳以上の女性

(※)平成29年度の個別検診受診者は対前年比約30%増加したとのこと。

3 市町乳がん検診広域化の現状(主な事例の詳細は次頁参照)

市町名	広域化の現状	事務処理方法
三田市	神戸市内の医療機関(47箇所)で検診受診可 自己負担額2,000円(40-49歳・2方向撮影) 1,500円(50歳以上・1方向撮影) (神戸市民も同額)	神戸市医師会と委託契約を締結 同医師会が委託料を一括請求
福崎町 たつの市 宍粟市 太子町	姫路市内の医療機関(14箇所)で検診受診可 自己負担額3,000円(姫路市民も同額)	姫路市医師会と委託契約を締結 同医師会が委託料を一括請求
西宮市	神戸市内の医療機関(1箇所)で検診受診可	各医療機関と委託契約を締結 各医療機関が委託料を請求

4 今後の対応(案)

- (1) 県内の市町と比較して、神戸市は市内で乳がん検診を受診できる医療機関が豊富である
- (2) すでに三田市民は神戸市内の医療機関で乳がん検診を受診できる。
- (3) 希望する市町が神戸市内の医療機関で乳がん検診を受診できる体制を関係機関(※)とともに整備したい。
(※) 神戸市医師会、兵庫県産科婦人科学会 等
- (4) 本県としては、徳島県や佐賀県のように、検診項目や検診結果の通知方法等を県下で統一したものを構築したい。

【参考】市町がん検診広域化の現状(2019.9.30現在)

乳がん検診

圏域	実施市町名	広域市町名	医療機関数
阪神南	1 西宮市	神戸市	1
	2 伊丹市	尼崎市	1
阪神北	3 三田市	神戸市	47
	4 加古川市	稲美町	1
東播磨	5 稲美町	加古川市	1
	6 播磨町	加古川市	1
		稲美町	1
北播磨	7 三木市	小野市	1
	8 加西市	西脇市	1
		三木市	1
	9 加東市	西脇市	1
中播磨	10 多可町	西脇市	1
	11 市川町	神河町	1
西播磨	12 福崎町	姫路市	14
	13 たつの市	姫路市	7
	14 宍粟市	姫路市	13
	15 太子町	たつの市	1
		姫路市	14
	16 上郡町	相生市	3
赤穂市		2	
たつの市		1	
但馬	17 朝来市	豊岡市	2
		養父市	1
		神河町	1
	18 香美町	養父市	1
合 計		25	119